



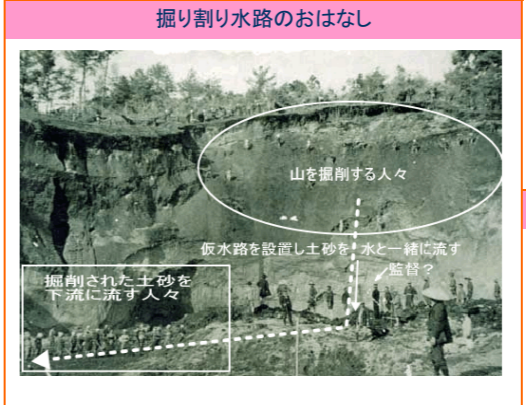
※距離はマップメーター計測のため、正確ではありませんので、目安としてください。

A → B	800m	標準歩行時間(休憩を含まない)	
B → C	1,700m	★つぎつぎコース★	
A → D	100m	■A→D→E→F→H→D→A	
D → E	700m	歩行距離 4,500m 標準歩行時間:1時間10分	
E → F	1,800m	★きざりコース★	
F → G	1,600m	■A→D→E→F→G→F→H→D→A	
F → H	1,100m	歩行距離 7,700m 標準歩行時間:2時間	
H → D	700m	★ほけもんコース★	
H → I	800m	■A→B→C→B→A→D→E→F→G→F	
I → J	1,000m	→H→I→J→I→K→I→H→D→A	
I → K	300m	歩行距離 16,900m 標準歩行時間:4時間45分	



志和地古墳
 志和池古墳群は、昭和9年4月19日に前方後円墳1、円墳10、地下式横穴1基が県指定文化財に指定を受けています。この他にたくさんの地下式横穴が群集しています。現在まで4基が発掘され、年代は6～7世紀頃と推定されています。
 地下にトンネル状の通路(羨道・せんどう)と遺体を納める部屋(玄室・げんしつ)を設けた南九州独特の墓制です。

上下水流水路のおはなし
 上下水流水路用水路は、今から300年前に庄内川より8kmの用水路で300haの志和池の田んぼに水を引いていました。
 明治33年(1900年)に田用水路の工事が上流ではじまり、志和地の農民は「前田用水路にみんな水をとられ志和池に水がなくなると心配して反対運動が起こりました。そこで丸谷川から掘り割り用水路で水を引くことになり今の用水路が完成しました。



掘り割り水路のおはなし
 前田用水路の工事により志和池流域の水量が不足するとの理由から、前田用水路反対運動がおこり、付け替え水路が必要になりました。前田正名が東京の技師に見積もりをさせたところ、工期3年、工事費9万円になるといわれたため、前田用水路が計画中止に追い込まれました。この窮状を救ったのが坂元源兵衛です。坂元源兵衛は工期5ヶ月、工事費6000円で工事を完成させました。

工事は、丸谷川から取水し延長600m、幅40m、深さ22mの堀開き水路で坂元源兵衛の優れた技術の「水流し工法」で明治33年(1900)に完成しました。これにより前田用水路も無事完成できました。

その後、たびたびの災害を受けた掘り割り用水路は昭和30年(1955年)当時、鉄筋がなく鉄筋の代わりに竹を利用した、竹脇コンクリート隧道に代わり埋められました。



美しい田園風景
 四季折々の美しい田園風景を楽しめるのもこのコースの魅力です。



たのかんさあ(田の神)
 田の神は豊作を見守る神で、都城地方では「たのかんさあ」と呼ばれ豊作の神様として、大事にされています。
 田の神をまつる風習は全国的にありますが、「たのかんさあ」として石像をまつるのは、鹿児島、宮崎だけです。志和池にもさくさんの「たのかんさあ」が田んぼのあぜ道で豊作を祈っておられます。

本マップ編集者は、その内容に責任を負いませんので、個人の責任で使用してください。

蓮池/志和池の語源(二つの説あり)
 1474年、この地を治めた、薩摩藩島津忠堯が蓮池を見て「志の和することこの池のごとくあれ」と地名を名付けられたと伝えられている。
 昔、雲林寺(うりんじ)の僧が、波もなく鏡のような蓮池を見て、「志の和(やわら)ぐこと、この池のごとくあれ」といったことから、地名になったと伝えられている。

美しい田園風景を楽しんでね
 アクセス(志和地市民広場まで)
 ■都城市内から20分
 ■宮崎市から1時間10分
 ■小林市から50分